

2012年10月31日

NPO法人「日本の道」 竹森道夫

### 東日本大震災 第4回岩手県大槌中学校吹奏楽部支援 実施報告

下記の通り、実施いたしましたので報告いたします。

1. 日 時 2012年10月5日(金)～7日(日)
2. 会 場 大槌中学校 合同仮設体育館 「午後のコンサート」(中学の全校生徒対象)  
城山公園体育館 中学校吹奏楽部 第19回定期演奏会ゲスト出演
3. 演奏者 吉川武典 (NHK交響楽団トロンボーン奏者)  
井川明彦 (NHK交響楽団トランペット奏者)  
高嶋圭子 (作曲家/ピアノ)  
竹森かほり (元東京シティ・フィルハーモニック団員、東京都立総合芸術高校非常勤講師)
4. 同行者 竹森道夫 (NPO日本の道)  
(丸谷博男 NPO「NPO日本の道」理事長、竹森耕平/ドラム奏者、吉川深雪/ホルン奏者)
5. 内 容 コンサートとクリニック
6. 対象者 大槌中学校全校生徒 263名 大槌町の人びと 約380名

昨年11月楽器を寄贈した音楽家を中心に大槌町を訪問し、大槌中学校吹奏楽部のクリニックと高校の吹奏楽部などと合同のコンサートを重ねて来ました。今回は四度目の訪問でした。

今回は、中学校生全員を対象とした「午後のコンサート」を開催。会場は、隣り合う四つの小学校と一緒に使う仮設体育館。「入学式と卒業式以外は、四つの小学校が行事と部活に体育館を使うため、中学の全校生徒が一同に集まる場所も、機会がない」「みんなが揃う場所で音楽を聴かせたい」という中学校長の熱心な要望で実現しました。

8月20日に新学期が始まった山の間に挟まれた仮設校舎は、室温が37～38度に達する日もしばしばで体調を壊す生徒も後を絶たなかったとのこと。「生徒が、1時間じっと音楽を聴けるかしら」という先生の心配もありましたが、ジブリの曲では三年生が先導して手を振り、最後の曲では生徒たちが立ち上がり、肩を組んで体を揺する場面も……。われわれの不安が、吹き飛ぶ光景でした。その後、多忙を極める碓川町長の要望で表敬訪問。佐々木副町長、佐々木生涯学習課長が、翌日の定期演奏会のリハーサルに相次いで現れ、感謝と今後の継続を熱心に促されました。

訪問の最終日は三年生最後の演奏になる定期演奏会。支援を行ってきた船橋市交響吹奏楽団23人のメンバーも賛助出演し、夏休みに吹奏楽部を招いた大阪の「大槌町を支援する河内長野市民の会」の方も来訪。更には、各地から駆けつけた中学の卒業生や大槌高校吹奏楽部員が、会場設営や楽器運搬を手伝い、旧知の子供たちとの懐かしい再会も果たせました。

昨年の定期演奏会も、子供たちの屈託のない元気に驚き、こころ動かされたものの、垣間みられたぎこちなさや寂しさが、今年は感じられなかったのが救いです。

※実施内容・スケジュールは別紙に添付

《経費報告》

項目	単価(内訳)	数量	小計
新幹線 (JR在来線)	往路 東京都区内⇒新花巻 11,040円	5	55,200
	復路 新花巻⇒東京都区内 8,440円	4	33,760
	釜石⇒新花巻⇒東京都区内 12,660円	1	12,660
レンタカー	ワゴン1台 新花巻--(釜石経由)--大槌	3日	53,445
ガソリン代			5,763
駐車料金	500円	2	1,000
ホテル代	7,400円×5泊(5日×3名、6日×2名)	5	37,000
	6,800円×3泊(5日×1名、6日×2名)	3	20,400
	9,800円×1泊(5日×1名)	1	9,800
合計			229,028



2011年10月9日、城山から見下ろす町の中心部



1年後の大槌（2012年10月7日撮影）

10月5日(金) 「午後のコンサート」

5校で体育館はひとつ。入学式以来、全校生徒が一つの場所に・・・



最後の曲で、立ち上がり肩を組む生徒たち



生徒会長から感謝のあいさつ



碓川 豊大槌町長を訪問（町役場はプレハブから、火災にあった大槌小学校を改修して移転





1-2年生が吉里吉里中学にヤマ台をかりに行っている間、寸暇を惜しんでレッスン



10月6日 いよいよ明日は定期演奏会

10月7日 定期演奏 会場は震災直後、最大の避難所だった「城山公園体育館」(舞台の袖幕は寒さを凌ぐため切り取られたまま)



船橋市交響吹奏楽団の23人を加えた壮観な舞台 !!

つめかけた町の人や、父兄、卒業生たち



紹介を受ける井川さんと吉川さん。みんなをバックに「トランペット吹きの子守唄」と「I 'm getting sentimental over you」を披露



遅しく成長した生徒たちとの「さよならの会」。卒部する三年生には、思い出多き一年であった事を・・・

